

授業科目	生活環境論				
担当者	相原一貴（実務経験者）				
実務経験者の概要	理学療法士としての臨床経験があり、福祉用具の選定や住宅改修を行っていた。現在も維持期の病院に携わっている。				
学科名	理学療法学専攻	学 年	3年	総単位数	1単位
		開講時期	前期	選択・必修	必修

■ 内 容

生活環境論では、リハビリテーションに関係が深い、生活環境について学びます。理学療法士として専門的な視点で、対象者を取り巻く生活環境をどのように捉えるのか、またどのように考えるのかを学びます。

■ 到達目標

- ・医療保険制度と介護保険制度を理解し、説明できるようになる。
- ・代表的な自助具や福祉機器について理解する。
- ・疾患や障害と生活環境の関係を理解する。

■ 授業計画

- 第1回 日本の社会保障の概論
- 第2回 医療保険制度と介護保険制度①
- 第3回 医療保険制度と介護保険制度②
- 第4回 日本のリハビリテーションと地域包括ケアシステム
- 第5回 居住環境：移乗移動関係
- 第6回 居住環境：寝具関係
- 第7回 居住環境：入浴・排泄関係
- 第8回 住宅改修について

■ 評価方法

科目試験〔筆記試験〕（70%）、小テスト（30%）
 正当な理由がない欠席や遅刻については減点とする。（欠席：-2点、遅刻：-1点）
 また、提出物の不備や必要物の忘れなど不良な学習態度についても減点対象（1回：-5点）とする。
 講義内テストを含む全ての試験の際に不正な行為があったと認められた者については、規程に定める第16条を適用し、当該学期の全ての試験を無効とし、失格（留年）とする。

■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

新たな専門用語が多く出てくるので、講義後の復習が重要となります。
 理学療法との関係が密接な科目なため、講義時間と同等の復習時間を確保することが望ましいです。単なる暗記ではなく、考え方捉え方を理解し、応用できるようになることが求められるので、積極的に予習・復習し、取り組んでください。

■ 教科書

書 名：生活環境論 - 生活支援の視点と方法 - 第6版
 著者名：木村哲彦 監修
 出版社：医歯薬出版株式会社

■ 参考図書

書名：生活場面から見た福祉用具活用法
著者名：浅井憲義、大熊明、奈良篤史 編著
出版社：中央法規

書名：福祉用具専門相談員研修テキスト
著者名：一般社団法人シルバーサービス振興会 編集
出版社：中央法規

■ 留意事項

準備物等の連絡は Moodle を通じて行うため、各自必ず確認してください。

■ 講義受講にあたって

やむを得ず講義を欠席した場合は、数日中に講義資料等を必ず取りに来てください。